『みんなのねがい』 を読むには…

●一人から始める

個人年間購読を申し込んでいただければ 郵送でお届けします。

1冊 定価 715 円 (本体 650円+税) 書店注文 個人購読 年間 9,400 円 (税・送料含)

●みんなで読めば

2冊以上まとめれば、「まとめ購読」。まとめ価格で送料無料でお届けします。 そのほかの全障研出版部の本も、送料無料ですぐにお届けします。

●書店、セブンイレブンでも

書店やセブンイレブンで申し込めば、毎月(16日発売)お店で受けとることが できます。お申し込みに必要な雑誌コード番号は「08441」です。

●見本誌無料で送ります

「どうしようかなあ」と迷っているあなた、「どんな本か手に とって見てみたい」という人はまず見本誌を請求してください。



お申込・お問い合わせは

全障研出版部 電話 03-5285-2601 FAX 03-5285-2603

T169-0051 新宿区西早稲田2-15-10 西早稲田関口ビル4F

ホームページ www.nginet.or.ip



購読申込用紙

お名前(ふりがな)

送り先ご住所

お電話

①みんなのねがい()月号から

個人年間購読を申し込みます

②みんなのねがい (

) 月号から まとめ購読(

)冊を申し込みます

見本誌をお送りする方

お名前

お電話

ご住所

ご紹介者のお名前 お電話





1970年に創刊された『みんなのねがい』には障害のある人やその家族、実践者など、 さまざまな人のねがいや希望、ときには、小の葛藤がつまっています。あなたの生 活にそっと寄り添う、やさしくあたたかみのある一冊でありたいと思っています。 塚田直也(『みんなのねがい』編集長)

全国障害者問題研究会



2022年『みんなのねがい』の読みどころ

『みんなのねがい』は障害児教育、福祉、家族のねがいがつまった障害者問題の月刊誌。 読みやすくてやさしい、そして障害のある人や子どもたち、家族、関係者をつなぐ雑誌です。

福祉



2年間のロング連載スタート!

「発達のなかの煌めき」

発達を学ぶ

故田中昌人先生が折に触れてつかわれた「発達の煌(きらめ)き」という言葉を□にするたびに、子どもたちのかすかで、でも確かな瞳の光や指先の動きを思い、また、星のまたたきにつながる大いなる自然の営みを感じ、心がくすぐったくなります。同時に、**瞳や指先の動きにかけがえのない価値を見出してきた多くの人の叡智と深い愛情を感じ、**思わず背筋を伸ばします。連載の機会を与えてくださったことに心より感謝します。これまで出会ってきた子どもたち、障害のある人たち、ご家族、保育者や教職員、支援者のみなさんホー人おひとりの顔を思い浮かべながら、発達につ

いて、発達をはぐくむ実 践について、そして私 たち自身の発達につい て振り返っていきたい と思います。

白石正久さん(龍谷大学名誉教授) 白石恵理子さん(滋賀大学)

仲間と歩んだ福祉実践の道

「成人期施設における実践を考える」

実践



との表践やつながりを張り返り、成果に課題**出会ってきた利用者(仲間)・家族・職員** 実践や運動を32年間してきました。**自分が** 相談支援の職員としてさまざまな方に出会い、 これまで作業所やグループホーム、入所施設、

佐藤さと子さん (ゆたか希望の家相談支援事業所)

子どもから大人まで、教育に福祉、最新の情勢も!

2022年の『みんなのねがい』

インタビュー

あなたと、話したいこと 平野啓一郎さん(小説家)

今あの人に聞きたい、平和の こといのちのこと。作品に込 めた思いや社会について考え ていることをお聞きします。

(プロフィール) 著書に『マチネの終 わりに』、「ある男」、「本心」など多数。 映画「ある男」は 2022 年公開予定。

です。 のいま」鈴木浩 環境、ひきこもりなどを学びます子どもの権利をテーマに虐待、教 考える: 「児童虐待と家庭支援



し出します。 ちにカメラを向け、輝く一瞬を写スの子どもたちや作業所の仲間た 独自の視点で放課後等デイサー グラビア



土佐和史さん (写真家)

好評の漫画ページが復活します! ホッと一息、子育てにかかわる読み 切りエピソードです。

漫画 だいじょうぶ 大丈夫

#記 乙の子と認访

『みんなのねがい』といえばこの連載! 障害のある子と歩む家族の物語です。

その他のチラ見はこちらの





記事のちょっと見はコチラ

のち」 森淳子さん

のち」にかかわる深いテーすることから「人権」や「い人との対話や語り合いの経筆者がこれまでに出会った 岐阜協立大学非常勤講師 (岐阜支 経

発達保障インタビュ

好評連載! 4 月号は和歌山・ 河原京子さん (元教員)。地域 でとりくまれてきた発達保障 をつなぐ学校づくり・地域づ くりの歩みをお聞きします。

表紙 女田菜津紀さん

フォトジャーナリスト)



表紙のことば」 では、写真にう つる人々の暮ら し、各地の社会 的課題が綴られ





どうしようかな~

世界の風

実践と一緒に載ってる毎回、いろんな教材での教材・教具に

春、4 月号は南国パラオから。現 地の障害児教育事情やここでしか 読めないおすすすめローカル情報 もあるかも!?



みんなっ

リンクからどうぞ!つ



←「人として」



遠藤春香さん(広島乳幼児サークル)

毎日忙しく過ごしていると、目の前のこと に必死になり、大切なことをついつい見逃 してしまいます。ですが、職場の仲間たち と『みんなのねがい』を一緒に読み合わせ ることで、それぞれの考えや思いを知り、 気持ちを一つにして保育にむかうことがで きます! 子どもたちはもちろん、お母さ

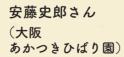
> んたち保護者の方への伝えたい願 いも膨らみます。初心に戻り、大 切なことをあらためて考える、そ して自分の保育を振り返るきっか けになる、そんな一冊です!

読者が語る! 『みんなのねがい』 の読みどころ



ひろーく、ふかーく、時にはじーんと…いろん な学びと感情に出会わせてくれる、それが『み んなのねがい』です。日々<mark>仕事で悩むことも多</mark> <mark>いですが、そんな時に読んで</mark>「やっぱりこんな ことを大切にしたいなぁ」「あんなふうに実践 したいなぁ」と自分の価値観、ねがいと向き合 います。発達はもちろん、保護者の思いや実践 のヒントも詰まっていて、権利を守り発達を保 障することを軸に情勢、社会問題まで幅広く学 べます。いろんな視点に触れることで、狭くなっ

ていた考え方がふっと広がります。





みんなのねがいを読む お父さん、お母さんの声

重度の知的障害のある娘に父親として何 をしてあげられるのか、そんな問いを抱え るなかこの雑誌に出会いました。そこで知 り得たことは「仲間」の存在の大切さです。 娘の「幸せ」のためにと地域で様々な活動

をしてきましたが、「仲間のなかの娘」の視点がなく、私がなんとか しなければと葛藤していました。『みんなのねがい』はそんな父親の 背中を押してくれたので、少し「子離れ」が進みました。これからも『み んなのねがい』で学び続けます。



大森真弓さん (神奈川

9歳の息子は、知的障害をともなう自閉症で す。幼稚部のころにご縁がありずっと愛読書と なっています。毎月、家に届くとワクワクした 気持ちで読み始めます。まずは息子に関係しそ うな記事を読み、他のページへも目が向きます。 今までいろんな本を読みましたが、一冊で障害 者を取り巻く諸々のことを語れる本はありませ ん。この雑誌は、唯一無二の存在なのです。こ れからも私や子どもの願いと重ねながら、末永 く『みんなのねがい』が届き続けますように。



編集部 note では 過去のマンガ連載 など公開中!→

